

令和元年度広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会 第1回運営委員会 会議録

日 時 令和元年6月14日(金) 18時30分～20時00分

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)南棟4階協議室

出席者 (委員) 柿本委員長、阿部委員、弘中委員(欠席:脇谷委員)
(プラザ) 谷川館長、中森主任

議事及び会議要旨(以下)

議事1 平成30年度事業報告について

事務局から、平成30年度事業及び利用者数について報告され、意見が交わされた。

- ・パソコンサロンボランティア育成講座に参加してボランティアをしようという人は若い人が多いのか?
 - どちらかといえば中高年で退職されている方も多くいる。また女性の比率も高い。
- ・そのくらい的人数がボランティアとして活躍しているのか?
 - 現在10人前後登録している。
- パソコンサロンは現在、ICTボランティア団体の方も一緒に担当してもらっているが、ボランティア登録を増やしてICTボランティア団体の負担を減らしていきたいと思っている。また登録制度が安定すれば、公民館などへ紹介することも考えている。
- ・利用者数や事業の参加者数を見ると昨年度の豪雨災害の影響は大きいと思う。
 - 7月利用者の減少を見るとかなり影響があった。
- ・以前は託児サービスの利用がいくらかあったと思うが、30年度少ないのは、託児サービスが必要とされていないのか?
 - 託児サービス自体の需要はあると思うが、プラザの講座は夜開催されることが多く、夜は託児を引き受けてくれる人がいない。そのため託児サービスを付けれるのが昼のパソコン講座くらいなため、利用する参加者も多くないのが現状である。
- ・夜に子どもを預けてまで講座に参加しようという人は少ないのだろうか?
 - 実施はしていないが、夜の託児を引き受けてくれる人がいればそれなりの需要はあると思う。
- ・託児を利用する人は少なくとも、今後も必要とされるサービスであるから継続してほしい。
- 30年度は昼間に開催したパソコン以外の講座にも託児を付け1回利用があった。今年度からも託児をつけることが可能なものについては積極的に付けていこうと思う。
- ・ボランティアきっかけづくり講座に参加された人の講座終了後のアフターフォローなどはどうなっているか?
 - 絵本の読み聞かせ講座に参加された方は、講座を担当してもらった「絵本たねまき塾」の方へ参加したり、図書館の読み聞かせボランティアに参加したりしている。絵本たねまき塾のほうはあとの活動状態も確認でき、ほとんどやめることなく活動されている。
- パソコンサロンボランティアのほうは先ほどの話にも出たとおり、登録制度をつくり、とりあえずはパソコンサロンで活動してもらい、将来的には市内各施設に紹介できるような体制をつくりたいと思っている。今年度もボランティア育成を開催していく予定。

- ・自分が参加するなら城下町広島散策や歴史講座に参加してみたい。
- 歴史系の講座は確かに人気があり参加者も定員を超えるほど申込みがある。
- 歴史や散策などの講座については、施設の目的や専門性から考えると、プラザ単独の講座としては開催しにくいですが、文化財団はいろいろな専門的な施設を運営しており、そこと共催することで多様なニーズに対応する講座を開催できる。そのあたりは指定管理者として当財団がプラザを運営する強みでもある。
- ・まちかどコンサートもとても盛況で、当日は人があふれていた。
- 30年度のコンサートはどれも観覧者が多く人気があった。今年度も継続して開催していきたい。

議事2 平成30年度利用者アンケートについて

事務局から、平成30年度利用者アンケートについて報告があり、意見が交わされた。

○満足度の比較

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
29年度	52.2%	18.8%	27.1%	1.6%	0.3%
	71.0%		27.1%	1.9%	
30年度	51.7%	17.8%	29.1%	0.8%	0.7%
	69.5%		29.1%	1.4%	

- 満足度については満足+やや満足の合計はやや下がったもの、不満+やや不満の合計もやや下がっている。その分普通の割合が大きくなっているだけなので、大きな変化をないものと思われる。
- 30年度アンケートの項目で、当日割引制度のことを聞いているが、83.5%の利用者が知らないという結果が出ており周知の必要がある。
 - ・必要としている人は少ないのか？
- 利用当日の予約しか割引されないが、当日にならないと空いているのかわからないため予定が立てられない。当日割引を狙っての利用は難しいと思う。会社など（商業利用）で当日急に会議場所が必要になる場合も考えられるが、割引制度は一般利用しか適用されないため利用できない（一般利用者はフリースペースが利用できる）
- アンケート内の記述部分について見ると、施設・設備に対する意見が多い。
 - ・室温などのことはそれぞれの感じ方があり難しいと思う。
- 要望があればできる限り調整はしているが難しい。特に冷暖房の切替時期に対応しきれないことが多いが、暑ければ扇風機を貸し出すなど対応をしている。
 - ・有料施設の申請方法を改善してほしいとあるがどういうことか？
- プラザは申請・支払期日を利用日の8日前にしているが、これを当日支払にさせてほしいとか後納にさせてほしいとか、カード払い可能にしてほしいとかの要望があるが、原則として対応できないものも多い。
- 早めに予約したいという要望もあるが、一定の条件（優先申請）を定め、その条件を満たす場合にのみ認めている。（早めに支払った場合、割引してほしいとの要望もある。）
 - ・トイレを洋式にという要望があるが、高齢者の利用も多いこともあり考えたほうがよい。

- 予算的なものもありすぐに対応は難しいが、市の方へ要望をあげてみる必要はあると思う。
- ゆったりトイレなどは、洋式で暖房便座などに改修しており、利用しにくい方にはそちらの利用をお勧めしている。

議事3 令和元年度事業計画について

事務局から、令和元年度事業計画について説明があり、意見が交わされた。

- ・新しく開催する事業というのがあるのか？
- 指定管理を受けている5年間については事業計画が決まっており、新しいものや大きく変わるものはない。
- 先ほど30年度報告で紹介したボランティアきっかけづくり講座や生涯学習支援事業などは継続してやっていき、次期の指定管理にも繋げていきたい。
- ・スマホやタブレットのアプリに対応した事業のお知らせや施設予約などのシステムがあると便利だと思う。(府中町など対応してきている)
- なかなかプラザ単独で、アプリを活用した対応は難しいが、現HPの表示方法なども検討しながら、可能な範囲で検討していきたいと思う。

議事4 まちづくり市民交流フェスタについて

事務局から、まちづくり市民交流フェスタについて説明があり、意見が交わされた。

- フェスタの時期についてはいろいろと試しているが、今年度は11月9日(土)10日(日)に開催しようと考えている。
- 昨年度は災害もあり、参加団体や来館者が減少した。今年度は回復してほしいと思う。
 - ・袋町小学校の展示は、保護者や来館者にも好評なので続けてほしい。
 - ・地域団体やPTAなどとのこの地域に住む方々との連携もあるとよい。
 - ・前回の運営委員会でも出たが、平和資料館とのつながりも大事にしたい。
 - ・何かメインとなるようなイベントがあると来館者が増えると思う。
- 小学生の展示は今後も続けていく予定で、期間もフェスタ期間中だけでなくフェスタを挟んで少し長く展示してもらっても良いと思っている。

また他の団体や地域との連携も模索していきたいのでアイデアがあればまた教えてほしい。
- メインイベントとしては、参加団体の顔ぶれを見て、一緒に集客が望めるものを実施したい。
- 実行委員会については団体の負担を減らすために今年度も2回ということにしたい。

ただ、ここ数年2回でやってきているが、伝達事項だけで終わってしまい交流を持つ時間がとれない。なるべく事前に提出物等を提出してもらって実行委員会で検討できる体制をとりたい。
- 大学との連携も定着してきており、参加団体としても当日ボランティアとしてもどんどん参加してもらいたいと思っている。またエリザベト音大の演奏会はひとつの目玉としてPRしていきたいと思っている。
- 実行委員会を開催するに当たり、今年度の実行委員長も阿部委員にお願いできればと思っている。

(参加委員の中で異議なし)

○実行委員会の日程は、1回目は8月22日前後、2回目は10月15日前後に考えており、阿部委員の都合を聞いてから決定したい。(後日8月22日(木)、10月16日(水)に決定)

その他 次期指定管理者公募についての進捗状況報告

事務局から、まちづくり市民交流プラザの次期指定管理者公募についての説明があった。

○今期の指定管理も今年度で5年目となり、今年度の7月から次期の公募が始まる予定である。

広島市文化財団として、次期も指定管理者に選定されるよう準備を進めている。

○次期の事業計画は、これまでの管理運営の経験を活かしながら、さまざまな連携を強化し、これまで以上に生涯学習や市民活動、ボランティア活動を支援していけるような仕組みを検討している。

【次回の運営委員会】

令和元年10月の予定。(日程は後日調整する。)

閉会